3面から続く

【区　長】用地の取得や事業費、他の体育施設とのバランスなどを考えると、現時点では設置する予定はない。


区立庭球場

豪雨災害対策について問う

【質　問】豪雨などの影響により、北野小の通学路にある擁壁が崩れたことを踏まえ、早急に区内の通学路の安全点検を再度行うべき。

【教育長】学校や保護者などが合同で行う通学路の安全点検において、防災上の懸念箇所が確認された場合は、関係部署と情報共有し、対応が行われている。今後も各所からの情報も踏まえ、通学路の安全確保に努めていく。

子どもの遊び場について問う

【質　問】暑さの影響により、夏の遊び場の選択肢が限定されている。子どもが遊べる屋内施設を新たに整備すべき。

【区　長】旧板橋四中の跡地活用にあたり、児童館とｉｙｏｕｔｈの複合化による施設整備に取り組むほか、既存施設でも、魅力あるプログラムの充実を図り、屋内で遊べる場の確保に取り組んでいく。

公園・公衆トイレを問う

【質　問】女性専用トイレを増やすことについて、どのように検討していくのか。

【区　長】今後のトイレ改修において、建物を建てられる面積の制約や利用者の状況などに応じ、女性専用トイレブースの設置を検討していく。

【質　問】災害時、公園・公衆トイレに女性専用トイレが何か所必要と考えているのか。

【区　長】指定避難所をはじめ、区内各施設のトイレも活用する想定であり、公園・公衆トイレに限定して必要箇所数を示すことは困難である。

【質　問】老朽化したトイレの改修や洋式化について、計画を前倒しして実施すべき。

【区　長】改修は年間約３か所をめどに整備を進めている。また、８割を超える洋式化を達成しており、今後も計画に基づき、改修を進めていく。

※以上のほか、核兵器廃絶を求めて、としま賃上げ促進支援金、シルバーパスを無料に、物価高騰対策について質問があった



くまだ智子

（立憲民主党）

防災対策について問う

【質　問】道路の冠水による被害を防ぐため、国のワンコイン浸水センサ実証実験への参加も含め、浸水センサの設置を推進すべき。

【区　長】浸水センサで把握した情報により、どのように具体的な対策に結び付けることができるのか、他自治体の事例や成果を注視していく。

小学校の暑さ対策を問う

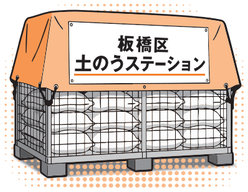
【質　問】多くの区立小学校では、つばのない紅白帽子を採用している。熱中症予防などのため、つばのある紅白帽子に変更するよう検討すべき。

【教育長】選定にあたっては、児童の安心・安全に配慮した教育活動を行うことを踏まえ、検討する機会をもつよう、各学校に伝えていく。

風水害対策について問う

【質　問】土のうステーションの設置地域に偏りがあるため、設置場所を増やすべき。

【区　長】浸水被害の発生状況や利用実績などを総合的に勘案し、実効性の高い箇所への整備を進めていく。



スマートシティについて問う

【質　問】現在の縦割り行政のままでは、スマートシティの実現は困難である。区長直轄の新たな部署を設置し、権限と予算をもって推進すべき。

【区　長】様々な事例を参考にしながら、機動的な意思決定を図るための体制づくりを検討していく。



おばた健太郎

（立憲民主党）

不登校児童・生徒への支援を

【質　問】不登校により、長期間学校給食を利用できない児童・生徒に対し、給食費相当額の補助を実施すべき。

【教育長】今後、先行して取り組む他区における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。

ベビーシッター利用料助成事業について問う

【質　問】安全性を考慮したうえで、１人のシッターによる複数保育であっても助成制度を利用できるようにすべき。

【区　長】都のベビーシッター利用支援事業について、制度改善を要望してきた。この度、一定の要件のもと、１人のシッターによる保育を認める改正が行われるため、区も８年10月から助成対象とする。

公契約条例の制定と入札・契約制度の一体的な改善を問う

【質　問】物価変動や最新の労務単価を反映した予定価格を設定するため、どのように情報収集を行っていくのか。

【区　長】事業者から寄せられる声や社会経済状況など、必要な情報を収集しており、引き続き最新の動向を的確に把握していく。

【質　問】適切に工種を分離した発注の推進や地元配慮型の入札制度など、区内中小事業者の受注機会拡大と育成に対する取組の方針を伺う。

【区　長】公契約条例案では、区内本店事業者の受注機会の確保を図り、地域経済の活性化に資することを基本方針の一つとしており、今後も区内事業者の受注や育成を促進する制度改善を進めていく。

【質　問】公契約条例において、最低賃金とは別に労働報酬下限額を設定する必要性と算定根拠を伺う。

【区　長】人材確保を通した公共サービスの品質向上を目的として設定することとしており、最低賃金制度とは目的が異なるものと考える。算定には、設計労務単価などを基礎とし、公契約審議会での議論を踏まえ、決定していく。

【質　問】提出書類を簡素化し、事業者の自主的な誓約と簡便なチェックシートの提出で対応できる仕組みにすべき。

【区　長】労働時間の管理状況などの報告事項については、事業者の負担を考慮し、チェックシート方式の報告書で確認する予定である。

【質　問】物価や労務費などが変動した場合に、契約金額及び指定管理料を適切かつ速やかに改定する仕組みを条例や運用規則などに明確に位置付けるべき。

【区　長】公契約条例案では、物価及び人件費の変動に応じた必要な措置を講ずることを区の責務としており、今後も適切に対応していく。

【質　問】最低制限価格制度の拡充などにより、質の高い履行と適切な労務単価の確保を図るべき。

【区　長】９年度から対象契約を拡充し、まずは設備保守や樹木整備、公園清掃に最低制限価格制度を適用するよう準備を進めている。



近藤タカヒロ

（自民党）

子ども・子育て当事者に届く制度や環境づくりを問う

【質　問】５歳児発達健康診査を申込制にした理由は。

【区　長】全家庭に案内を送付しているが、実施体制の面で課題があり、保護者の意向による申込制としている。

【質　問】子育て支援サービスは、制度ごとに利用登録が必要である。一度登録した情報を活用し、その後は必要な情報のみを入力して手続きできる共通の入口を設けるなど、利用登録の一元化を図るべき。

【区　長】さらに利用しやすいものとするため、利用登録の一元化を含め、サービスを一体的に利用できる環境整備について研究していく。

【質　問】産後ケアについて、利用者の希望から施設を探し、特徴の比較や空き状況の確認、予約までを一括して行える仕組みを構築すべき。

【区　長】区内外の医療機関などの協力を得ており、異なる予約方法であることや、複数自治体との契約となった際の課題などを整理しながら、検討を進めていく。



【質　問】小学生を対象とした国の学校給食費の負担軽減制度を活用し、不登校などにより継続して給食を食べていない児童の保護者から停止届が提出された場合には、給食費相当額を家庭に支給する仕組みを構築すべき。

【教育長】先行して取り組む自治体における実施状況を調査し、支援方法など実現可能性について検討していく。

大野ゆか

（いたばし未来）

数自治体と契約する施設もあり、デジタル化が難しい状況である。利便性向上を実現できるよう、民間事業者の予約システムなどを研究していく。

防災について問う

【質　問】区道における冠水注意箇所である、赤塚八丁目22番地先のアンダーパスについて、冠水した際の排水方法と電光掲示板の表示の流れ、設備点検の頻度を伺う。

【区　長】一定の水深を検知した際に、電光掲示板に「冠水注意」や「通行止」を自動的に表示し、排水ポンプによる排水を行う。排水設備は年６回の定期点検、電光掲示板は年１回の点検を実施しており、適切な維持管理に努めていく。

【質　問】防災情報などを迅速かつ確実に区民に届けられるよう、高齢者世帯や避難行動要支援者などに防災行政無線の戸別受信機を配付すべき。

【区　長】いたばし防災プラスアプリ・ポータルにおいて、防災行政無線の内容をプッシュ型で文字と音声で伝えるほか、電話応答サービスでも確認できるようにしている。より効果的な情報伝達のあり方を引き続き検討していく。

【質　問】住民防災組織格納庫と一体型の公園トイレの導入経緯を伺うとともに、さらなる拡充を求める。見解は。

【区　長】トイレと一体型にすることで、より堅牢な構造となり、災害時にも安定して使用できるメリットがあるため、導入した。公園トイレを改修する際に、立地上の制約などを考慮したうえで、選択肢の一つとして整備していく。

資源環境について問う

【質　問】路上禁煙地区における公衆喫煙所整備の進捗と民間事業者への公衆喫煙所設置支援の検討状況を伺う。

【区　長】路上禁煙地区における公衆喫煙所の整備を進めており、助成制度の拡充についても民間事業者などの意見を聞きながら検討を進めている。整備促進につながる適切かつ効果的な支援のあり方について、具体化を図っていく。

【質　問】ごみ集積所のカラス被害を防ぐため、他区のように、重り付き防鳥用ネットの導入を求める。見解は。

【区　長】被害軽減に一定の効果が期待できる一方、管理方法や収集作業への影響など、整理すべき課題がある。他自治体の導入事例や運用状況を踏まえながら、検討していく。

学校教育でのＩＣＴを問う

【質　問】一人一台端末について、Ｗｉ－Ｆｉ環境がない場所でも接続できるセルラーモデルの端末にすべき。

【教育長】現時点で変更は検討していないが、次期端末更新に向け、他自治体の動向や費用面などを踏まえ、通信環境のあり方を検討していく。

民設の子育てひろばの拡充と児童館のさらなる充実を

【質　問】民設の子育てひろばの運営を希望する団体などから相談があった場合、区としてどのような支援が可能か。

【区　長】事業内容を丁寧に伺い、児童館をはじめとする子育て関連事業との連携について可能性を検討していく。

【質　問】職員の世代交代に備え、児童館の若手職員の育成をどのように行うのか。

【区　長】区に児童相談所を設置している強みを生かし、子ども家庭総合支援センターや保育園と連携しながら、児童館の将来を担う人材の育成に取り組んでいく。

小豆沢体育館の整備を問う

【質　問】室内競技場の床は、経年劣化による破損などが見受けられる。修繕や改修を。

【区　長】全面的な改修は難しいが、今後も床面や競技ラインの状況を確認し、必要な修繕を行っていく。

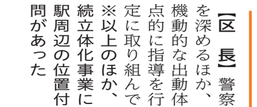
ドローン施策について問う

【質　問】包括連携協定を締結したブルーイノベーション株式会社と連携し、区立学校の探求学習などにドローンを活用しては。

【区　長】児童・生徒にとって学びの広がりも期待できるものと考える。取組の具体化に向け、現場環境や安全面にも配慮しながら、教育委員会と丁寧に調整を図っていく。

【質　問】包括連携協定の締結を踏まえ、あらゆる施策で活用できるドローンを板橋区行政として保有し、運用することを改めて求める。見解は。

【区　長】包括連携協定に基づく研修などを通し、職員の知識向上を図るとともに、行政保有のあり方を含めた運用について、検討していく。



木田おりべ

（自民党）

防災について問う

【質　問】区道における冠水注意箇所である、赤塚八丁目22番地先のアンダーパスについて、冠水した際の排水方法と電光掲示板の表示の流れ、設備点検の頻度を伺う。

【区　長】一定の水深を検知した際に、電光掲示板に「冠水注意」や「通行止」を自動的に表示し、排水ポンプによる排水を行う。排水設備は年６回の定期点検、電光掲示板は年１回の点検を実施しており、適切な維持管理に努めていく。

【質　問】防災情報などを迅速かつ確実に区民に届けられるよう、高齢者世帯や避難行動要支援者などに防災行政無線の戸別受信機を配付すべき。

【区　長】いたばし防災プラスアプリ・ポータルにおいて、防災行政無線の内容をプッシュ型で文字と音声で伝えるほか、電話応答サービスでも確認できるようにしている。より効果的な情報伝達のあり方を引き続き検討していく。

【質　問】住民防災組織格納庫と一体型の公園トイレの導入経緯を伺うとともに、さらなる拡充を求める。見解は。

【区　長】トイレと一体型にすることで、より堅牢な構造となり、災害時にも安定して使用できるメリットがあるため、導入した。公園トイレを改修する際に、立地上の制約などを考慮したうえで、選択肢の一つとして整備していく。

資源環境について問う

【質　問】路上禁煙地区における公衆喫煙所整備の進捗と民間事業者への公衆喫煙所設置支援の検討状況を伺う。

【区　長】路上禁煙地区におけるポイ捨て禁止の徹底に、さらなる取組が必要である。見解は。

【区　長】回答の正確性の確保などの課題もあるため、まずはバックヤード業務での活用を進めている。今後は、窓口支援ＡＩの導入も視野に入れ、活用範囲を検討していく。

居所不明児童について問う

【質　問】健診未受診者や長期欠席児童は、居所不明児童になる潜在的なリスクがあるが、状況が把握できない場合は、子ども家庭総合支援センターが所在を調査するなど、安全確認に取り組んでいる。

【区　長】健康福祉センターや在籍校が家庭訪問などにより児童の安全確認に努めているが、状況が把握できない場合は、子ども家庭総合支援センターが所在を調査するなど、安全確認に取り組んでいる。

「親なき後」の支援を問う

【質　問】障がい者の親なき後に備え、相談窓口の明確化や本人の情報などを事前に共有できる仕組みの強化を。

【区　長】生活に必要な支援の調整を事前に整理する「安心支援プラン」の充実を図りながら、将来を見据えた相談支援に取り組んでいく。

都市農地の保全について問う

【質　問】区内で急減しつつある都市農地について、保全の必要性の認識を伺う。

【区　長】喫緊の課題であると認識している。高島平緑地などを活用し、都市における農が持つ魅力や役割をより多くの区民に理解してもらえるよう取り組んでいる。

地域課題について問う

【質　問】成増駅北口ロータリーについて、公共交通の再配置などを要望してきたが、その実現性を伺う。

【区　長】８年度、周辺道路も含めた交通量調査を実施する。さらに、交通事業者へのヒアリングなど、設計条件の整理を行い、９年度からは施設配置を含めた設計を行うこととし、可能な限り、実現に向けた検討を進めていく。

【質　問】地下鉄成増駅の川越街道下り線側にエレベーターを設置するよう、鉄道事業者に対し要望すべき。

【区　長】現時点で具体的な整備予定はないと聞いているが、利用者からの要望を踏まえ、引き続き鉄道事業者に対し、働きかけを行っていく。

※以上のほか、これから10年間の区政運営、熊本地震の課題を踏まえた防災対策の再点検について質問があった

田中やすのり

（自民党）

若年世代の定住促進策を問う

【質　問】子育て支援サービスの中には、子どもの同伴不可などのルールにより、利用を断念するケースが散見される。運用改善を図るべき。

【区　長】共働き世帯や多子世帯も利用しやすいサービスとなるよう、運用改善や利便性の向上に努め、子育て世代に選ばれるまちの実現につなげていく。

【質　問】区立公園での手持ち花火の実証実験について、検証結果と今後の展開を伺う。

【区　長】アンケート調査では、全体の95％の方から花火利用の規制緩和に賛成との回答があった。利用ルールの見直しを検討し、９年度以降も、実施する公園の拡大や利用時間の延長など、花火利用の緩和を段階的に進めていく。

【質　問】北区の小学校の火災事故を受け、出火防止策や火災対策の確認をどのように行ったのか。

【教育長】消防設備の適切な操作方法の理解を深めることやコンセント周りの清掃などの漏電対策など、一層の防火安全対策の徹底を図っている。

外国人との共生と規制を問う

【質　問】外国人の国民健康保険料の滞納について、東京出入国在留管理局の情報連携による成果は。

【区　長】７年８月から開始した「協力要請制度」の連携により、８年８月末時点で、合計452人を情報連携し、そのうち納付したのは245人、収納額は約５４４０万円である。

【質　問】民泊の規制について、将来的な対応に向けた準備が必要と考えるが、見解は。

【区　長】今後も、民泊施設や苦情の動向を注視し、事業者への業務停止命令や条例改正など、状況に応じて柔軟かつ適切に対応していく。

さらなるＡＩの活用を問う

【質　問】若手職員へのノウハウの継承や窓口対応の質の向上には、窓口支援ＡＩの導入が有効と考える。方針は。

【区　長】警察などとの連携を深めるほか、巡回指導員の機動的な出動体制の拡充、重点的に指導を行うエリアの設定に取り組んでいく。

※以上のほか、東武東上線連続立体化事業における中板橋駅周辺の位置付けについて質問があった

坂田れい子

（参政党）

子どもの学びと健康を守るデジタル教育のあり方を問う

【質　問】一人一台端末の利用状況や学年別の学力・読解力などの変化を継続的に検証する考えはあるか。

【教育長】今後も、児童・生徒の学習面と健康面に十分配慮しながら、一人一台端末の適切な活用のあり方について引き続き研究していく。

【質　問】一人一台端末の利用時間の制限を各学校が選択するのではなく、発達段階に応じた設定に統一すべき。

【教育長】区として統一した制限を定める方針はないが、子どもの健康への影響なども踏まえた、より適切な選択ができるよう、校長会などを通じて理解啓発を図っていく。

公教育における宗教食への対応について問う

【質　問】公教育の場において、宗教上の要望を理由とする献立の変更は、単なる生活上の配慮を超え、行政が特定宗教の実践を支える行為になり得る。憲法上の政教分離原則及び教育基本法との整合性について、認識を伺う。

【教育長】除去食などの対応は、特定の宗教を援助・助長する目的ではなく、各学校が可能な範囲で対応することは、直ちに憲法や法律に違反しないと認識している。

しいなひろみ

（無所属議員）

徳丸三丁目郵政官舎跡地に防災機能を兼ね備えたインクルーシブ公園の設置を求めて

【質　問】区から日本郵便へ積極的に働きかけ、将来の用地取得を視野に入れた協議を進めるべき。

【区　長】地域の関心も高いことから、適宜、所有者の意向を確認し、今後の方針が明らかになったときには、適切な対応を検討していく。

介護職員の人材確保のために

【質　問】区独自の「訪問介護員移動手当」を創設すべき。

【区　長】移動を含む処遇は、介護報酬制度の中で安定的に確保されることが基本であり、現時点で創設する考えはない。

通学路及び地域住民の安全対策について問う

【質　問】徳丸三丁目29番地30番地と徳丸四丁目20番地・29番地に囲まれた交差点に、ソーラー式スマート安全道路鋲の設置を早急に検討すべき。

【区　長】これまでも、交通管理者と連携しながら、できる限りの安全対策を講じており、さらなる対策は考えていない。

ソーラー式スマート安全道路鋲
（議員提供）

※以上のほか、年をとっても障がいがあっても安心して暮らせる板橋区へ～認知症などのいち早い発見ツール二次元コードやシールの導入を求む～について質問があった